

石炭鉱業合理化基本計画の推移

回数	制定・改正年月日	告示番号	目標年次	生産規模(千ト)	生産能率	品位	閉山処理規模 および基準				備考
							買収方式		交付金交付方式		
							買収規模	買収基準	閉山処理規模	交付基準	
1	30・11・11	286	34	49,500	18.4	6,200	3,000	18.4 × 6,200 × 0.6 以下			
2	32・5・18	183	34	57,000	18.4	6,200	3,000	18.4 × 6,200 × 0.6			生産規模
3	33・8・11	293	42	69,000	23.5	6,200	3,300	18.4 × 6,200 × 0.6			目標年次、生産規模、能率、買収規模改正、未開発炭田に関する事項追加
4	34・4・15	144	42	69,000	23.5	6,200	4,300	18.4 × 6,200 × 0.6			買収規模改正
5	35・9・10	438	42	69,000	23.5	6,200	6,300	18.4 × 6,200			目標年度、買収基準改正、目標年度、生産規模、能率、品位改正
6	35・9・29	493	38	55,000	26.2	6,380	6,300	18.4 × 6,200			石炭鉱の近代化に関する事項追加
7	36・7・5	335	38	55,000	26.2	6,380	6,300	18.4 × 6,200			未開発炭田に高島炭田北部を追加
8	37・6・5	242	38	55,000	26.2	6,380	6,300	18.4 × 6,200	6,200	26.2 × 6,380 以下	交付金交付方式追加
9	38・5・1	172	38	55,000	31.0	6,320	6,300	18.4 × 6,200	7,600	31.0 × 6,320	能率、品位、閉山処理規模、交付基準改正
10	38・11・12	496	42	55,000	38.6	6,400	6,300	18.4 × 6,200	12,500	38.6 × 6,400	目標年次、能率、品位、閉山処理規模、交付基準改正
11	40・4・9	172	42	55,000	45.0	6,400	6,300	18.4 × 6,200	17,500	45.0 × 6,400	能率、閉山処理規模、交付基準改正
12	41・6・13	218	42	55,000程度	45.0	6,400	6,300	18.4 × 6,200	20,000	45.0 × 6,400	閉山処理規模改正、未開発炭田に佐世保炭田南部を追加
13	42・4・12	180	42	50,000 "	45.0	6,400	6,300	18.4 × 6,200	23,000	45.0 × 6,400	生産規模、閉山処理規模改正
14	42・12・27	779	45	50,000 "	56.2	6,500	6,300	18.4 × 6,200	27,000	56.2 × 6,500	目標年次、能率、品位、閉山処理規模、交付基準改正
15	45・2・28	60	48	36,000	65.0	6,500	6,300	18.4 × 6,200	40,000	65.0 × 6,500	目標年次、能率、閉山処理規模改正
16	48・8・15	384	51	20,000 を下らない	75.0	6,900	6,300	18.4 × 6,200	53,000	75.0 × 6,900	目標年次、生産規模、能率、品位、閉山処理規模改正、未開発炭田の整理
17	52・7・1	304	56	20,000以上	78.0	6,900	6,300	18.4 × 6,200	54,000	78.0 × 6,900	目標年次、生産規模、能率、閉山処理規模改正、石炭の利用及び深部移行に伴う保安技術の開発並びに海外石炭資源の開発
18	57・11・25	458	61	18,000程度～ 20,000程度	92.0	6,300			1,000	92.0 × 6,300	目標年次、生産規模、能率、品位、閉山処理規模等改正、石炭の利用技術及び鉱害防止技術の開発、閉山処理規模および基準
19	62・4・25	164	3	10,000程度	125.0	6,000	買収しない		5,000	125.0 × 6,000	目標年次、生産規模、能率、品位、買収規模閉山及び規模縮小の処理規模等の改正、石炭の適正な供給の確保、生産体制の集約化の過程における生産費上昇の抑制及び需要への適合、石炭の生産・利用技術及び保安技術の開発、鉱害の防止
20	4・4・24	189	13								構造調整目標、生産体制の集約化の過程における生産費の低減化、円滑な構造調整の実施、適正な供給の確保、露頭炭の位置付、石炭の生産・利用技術及び保安技術の開発、鉱害の防止、新分野開拓、鉱山労働者の雇用の安定産炭地域振興